

日経平均株価

2万1658円15銭
▼98円40銭(前日比)

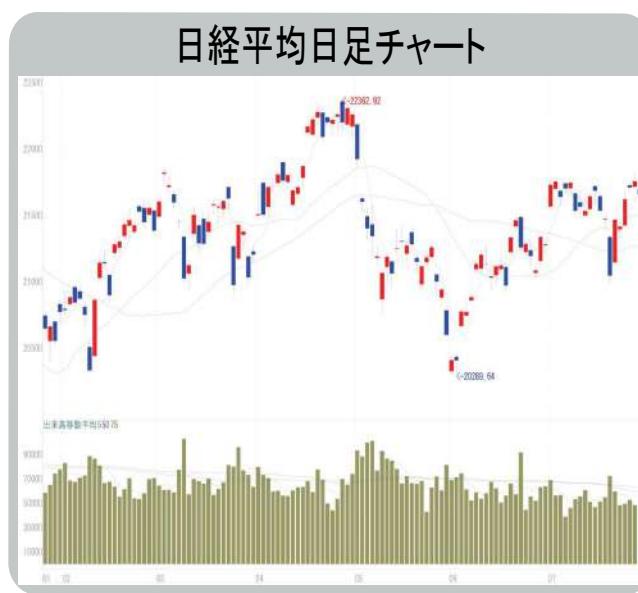
TOPIX
1571.52
▼6 3.3(高)



半導体業界浮上の条件は？

携帯大手キヤノンなどが発売予定だつたが、新端末の販売自粛を発表したが、米中会談後には、MVNO（格安スマホ）各社が販売再開に踏み切つた。ファーウェイ製端末につい

O向けのS I Mロックフリーのニーズが高かつたことから、現状では大きな影響はでていない。加えて、ファーウェイが強味を持つミドルスペックといわれる低価格端末ではシャープ（6753）が代替需要を取り込んでいく可能性もある。一方、日本政府による韓国への輸出手続き厳格化で半導体世界トップのサムソ



証券市場新聞

2019
7/29
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社
〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C
TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861



半導体は新たな展開へ

この数カ月間は半導体を含めた電子部品業界には逆風が吹き荒れている。米中貿易戦争激化に絡んで「安全保障上の脅威」になる外国企業のリスト「エンティティ・リスト（E.L.）」にファーウェイを追加、7月には日本政府が半導体関連物資の韓国への輸出手続き厳格化を発表したこと、サムスンやLG電子への影響も懸念されていた。ただ、不安が高まる一方で新たな動きも出始めており、今後は悲觀一辺倒から新たな展開を見極める時期に移行しそうだ。

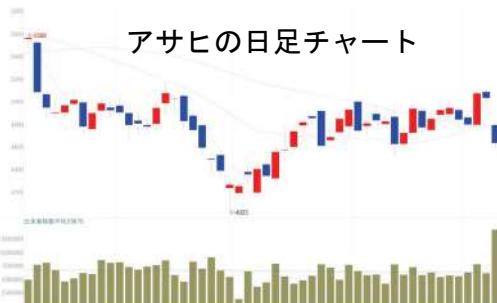
ファーウェイ代替はシャープ

ン電子の株価が下落し、業界全般に不安が拡がった。その一方で注目したいのは半導体シェアで世界4位の米マイクロンが6月に広島工場で新製造棟を完成させたことだ。次世代DRAMの生産体制を整え、自動車向けな

なる。
電子部品各社の第
1四半期決算の内容
はアナリストの事前
調査などでほぼ織り
込まれている。半導
体製造装置大手のS
CREENホールデ
ィングス(7735)など底堅い銘柄は引
き続き注目できよう。

どで攻勢を強め、サムスン電子を追撃する戦略であり、仮に輸出手続き厳格化で韓国企業に影響が出ても、マイクロンの生産増強でそれを十分吸収できることに

アサヒの日足チャート



アサヒの日足チャート

週明け22日、アサヒグループは大幅反落。250円（225）は大

アサヒグループは、インベブから豪州のビール・サイダー事業を買収することを発表しており、買収額は約1兆2000億円で、上限2000億円の増資も発表してお

アサヒ大幅反落

買収負担と稀薄化警戒

アサヒグループは、インベブから豪州のビール・サイダー事業を買収することを発表しており、買収額は約1兆2000億円で、上限2000億円の増資も発表してお

今週の動意銘柄

26日の東京市場は反落。前日の欧米株安を受け売り先行で始まった後、前日に急伸していた半導体関連などが売られ、上海市場が安く寄り付いた後に一時160円超に下げ幅を広げました。約2カ月ぶりの高値水準に戻してい

負担と将来の希薄化を警戒した売りが優勢になつた。

し先の未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

ムで、現代よりも少し未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

ちを起用した恋愛シミュレーションゲー

ムで、現代よりも少し未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

メディア工房S高

22日、メディア

工房（3815）がストップ高。子会社ルイスファクトリによる新作ゲーム「コスプリ!!」の制作開始を発表した。

ツイッター・フォロワー総数が100万人を超える有名コスプレイヤー・モデルた

と2ケタ増益となつた。各種ICテスト用ソケットとバーンインソケットは、米国、中華圏で販売好調、欧州では車載用

途の受注が増加した。

エンプラス20%増益

22日、エンプラス（6961）が年初来高同期比19.7%増

値を更新。19年3月期の第1四半期決算は連結営業利益8億円（前年5200万円）と2ケタ増益となつた。各種ICテスト用ソケットとバーン

インソケットは、米国、中華圏で販売好調、欧州では車載用途の受注が増加した。

半導体関連幅広く買い

23日、東京エレクトロニクス（8035）や村田製作所（6981）、キーエンス（6861）や信越化学工業（4063）、SUMCO（3436）など半導体関連が幅広く買われた。トランプ米大統領がアルファベット傘下のグーグルなどIT大手の首脳と会合を開き、中国の通

海運上昇率トップ

23日、日本郵船（9101）、商船三井（9104）など大手海運株が高い。業種別騰落率で33

込み済で、買い戻しの動きが活発化した。



正直じいさんの株で大判小判

26日の東京市場は反落。前日の欧米株安を受け売り先行で始まった後、前日に急伸していた半導体関連などが売られ、上海市場が安く寄り付いた後に一時160円超に下げ幅を広げました。約2カ月ぶりの高値水準に戻してい

ちを起用した恋愛シミュレーションゲームで、現代よりも少し未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

ムで、現代よりも少し未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

ちを起用した恋愛シミュレーションゲームで、現代よりも少し未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

ちを起用した恋愛シミュレーションゲームで、現代よりも少し未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

ちを起用した恋愛シミュレーションゲームで、現代よりも少し未来「アキバーラ」を舞台に実在する女の子たちをそ

原油関連は市況好転

23日、国際石油開発帝石（1605）やコスモエネルギー・ホールディングス（5021）など原油関連

伴う収益改善を期待した買いが向かつた。

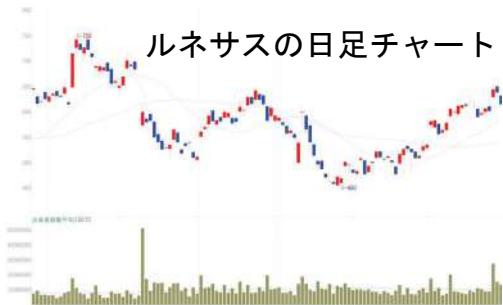


FOMCなどイベント通過待ち

26日の東京市場は反落。前日の欧米株安を受け売り先行で始まった後、前日に急伸していた半導体関連などが売られ、上海市場が安く寄り付いた後に一時160円超に下げ幅を広げました。約2カ月ぶりの高値水準に戻してい

れ、上海市場が安く寄り付いた後に一時160円超に下げ幅を広げました。約2カ月ぶりの高値水準に戻してい

れ、上海市場が安く寄り付いた後に一時160円超に下げ幅を広げました。約2カ月ぶりの高値水準に戻してい



24日、ルネサス
エレクトロニクス
(6723)が急反発
米国市場ではTIIや
テラダインが決算発
表を受けて時間外取
引で上昇、東京市場
でも半導体関連銘柄
が引き続き見直し人
気を集めしており、関
連銘柄全般の水準訂
正にに対する出遅れ感
から買いを集めた。大
きい拮抗、23日申
買い込み現在の貸借倍
率は0・23倍と大

信越ポリ 営業増益

信越ポリ 営業増益

幅な貸株超過で5銭の逆日歩がついており、買戻しが株価上昇に弾みを付けた。

ビーアンドピの初値
24日、ビーアン
ドピー(7804)
が東証マザーズ市場
に新規上場、公開価
格2000円を20
%上回る2400円
で初値が生まれた。
同社は業務用インク
ジェットプリンター
を使用した販売促進
用の広告制作、イン
テリアなどの生活資
材・製品制作を行う。

んでおり、市場が懸念したほど業績が落ち込んではいること、が買い材料になつた。

から「Underweight」へ、目標株価を1100円から540円へ引き下げた。従業員一人当たり営業利益の大幅減やコスト構造悪化から20年2月期の連結営業利益で会社側計画の40億円(前期28億5700万円)に対して從来予想の38億円から1億円へ減額。

气体溶解装置

sansolver (サンソルバー)



気体を液体に効率よく溶かし込む！

特長

- ・酸素を効率よく溶かし込むことにより、陸上養殖における酸素使用量の削減に貢献
 - ・マイクロバブル装置特許技術を応用した、高い気体溶解性能
 - ・小水量、低圧力での溶解が可能
 - ・簡単な溶解システム
 - ・高い耐食性
 - ・多種類の気体溶解が可能（酸素、二酸化炭素、窒素、水素 等）

用 途

- #### ・高濃度気体溶解水の生成



三相電機株式会社

本社 〒671-2288 姫路市青山北一丁目1番1号
TEL(079)266-1200(大代表) FAX(079)266-1206
URL <http://www.sanso-elec.co.jp>

今週の動意銘柄



週末26日、富士通（6702）が急伸、年初来高値を更新した。20年3月期の第1四半期（決算を発表）。連結営業利益

%減)と大幅な減益とながら、ユビキタスソリューションやテクノロジー・ソリューションが伸びており、これをポジティ

26日、イーブッ
クイニシアティブジ
ヤパン(3658)
が急落。20年3月
期の第1四半期決算
は、売上高46億6
万円(前年同)

26日、エイトレ
ツド（3969）が
急伸、最高値を更新
した。20年3月期
の第1四半期決算は、
売上高3億5500

グループ本社(2002)が大幅安。(2000年3月期の第1四半期決算は連結営業利益62億2300万円(前年同期比12%減)と2ケ

富士通急伸し高値

ブに評価する動き。

広告宣伝、販促活動
などコスト増が圧迫

日清粉G 14% 営業減益

ト 業利益万円(同4・2) 比6・7%減、當業1憶6,000万円(前年同期1憶5,500万円)と比較して、高水準の成長を実現。売上高は、前年同期比で6.6%増加した。

決算は、連結営業利益1075憶200万円（前年同期比12・7%増）と2ケタ増益を達成。未定としていた通期は4050憶円（前期比

(前年同期比52.8%減)へ下方修正した。セコップ社のコンプレッサー事業売却に関する譲渡損失を計上するため。通期は純利益135

がし円更上
0憶円（前期比21.8%増）と従来予想を据え置いていることから業績不安が後退している。

期比42・2%増)

な記状相

アドバンテS高で新値

1Q営業利益進捗率は50%

アドバンス社の新規取扱い商品として、
「アドバンス・スチール」が登場。この商品は、
従来の鋼材と比較して、强度が約2倍、重量が約
半減する優れた特性を有する。また、施工性も良
く、建設現場での効率的な施工が可能である。
今後、建築業界における鋼材の代替品として、
ますます注目されることが予想される。

%減)と減収減益になつたが、通期予想の営業利益300億円(前期比53・6%減)に対する進捗率は50%強であることから上づレ期待が高まつてゐる。

日電産業績不安後退

を軽めに

転ばぬ先のテクニカル

ポジションを軽めに

先週の東京株式市場は前週の週足が「たくり足」となったことで反発しました。25日には2万1823円高値まで上昇し、7月2日高値を更新する場面がありました。ただし、上値は52週線を抜けたところでは戻り売りに押されました。TOPIXも反発しましたが、日経平均を比べると出遅れ感が著しく、52週線はおろか26週線で頭を押さえられました。売買代金も2兆円割れが続いており、日柄変化日とした25日に高値を取ったことで、今週は下押しを警戒すべきところでしょう。

米国市場も売買代金が伸びない状態となっており、最近は債券ファンドに記録的なペースで資金が流入している現状であることから、今週のFOMC後の相場展開は材料出尽くしによる急変もあるかもしれません。



り得ます。週前半にはポジションを一旦軽くして様子を見る余裕が欲しいところです

相場展望

37、10月は2878、11月は3290、12月は2845、
 8、今年に入り1月は3829、2月は4520、3月は4290、
 5、4月は4430、5月は4373、6月には1日平均で520
 99ポイントの差となり、日米の株価は月を追うごとに拡大して
 いる。そして7月に入り、18日には過去最大の6176ポイントまで拡大した。また、東京市場の株価の出遅れ要因としては、東証一部市場の出来高が今年に入り大きく減少したことだ。今後の東京株式市場は、東証一部市場の出来高の増加が推進力になる。

国際テクニカルアナリスト

武藏 宗久 氏

東京市場出遅れ解消の条件は？

NYダウは7月3日に史上最高値を更新し、高値圏で推移している。NYダウは今年の安値から高値まで21%上昇した。世界の主要国の株価の上昇率を見ると、DAX（独）は21%上昇、CAC（仏）は22%上昇、FTSE（英）は14%上昇した。またRTS（ロシア）は30%上昇、ボベスパ（ブラジル）は16%上昇、ハンセン指数（香港）は20%上昇、SENSEX（印）は14%上昇、韓国指数は13%の上昇であった。

そして日経平均は14%の上昇で、10カ国平均19%上昇からは相当の出遅れが目立つ。この状況が明確に数値で表されているのが日米の指數差である。指數差はNYダウから日経平均を単純に差し引いた数値で、昨年後半から検索すると、昨年7月は1日平均で2635ポイントの差であった。8月は3091、9月は30

購読会員募集中！

証券市場新聞では、購読会員を募集しています。

高野恭壽の
株式情報これでどや!!

大阪で600人越えの集客を記録、アンケート調査で「是非聞きたい講師」全国第1位
人気株式評論家 高野恭壽の株式マガジン！

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

証券市場新聞 公式メールマガジン

優良銘柄に加えて新興銘柄のタイムリーな限定情報が満載！

<https://www.mag2.com/m/0001678061.html>

チャートから読む 脱落銘柄

ネクソン(3659)



6月21日の1429円を底に上昇基調継続。1700円台のもみ合いを経て2月28日に付けた1823円の高値奪回へ。貸借倍率0.80倍と拮抗、中国PCゲーム「アラド戦記」の想定以上好調も評価。

グレイステクノ(6541)



6月に戻り高値2985を付けてから一呼吸入れて出直る。日足が再び陽転し、大勢上昇トレンドを確認。今3月期も3割超の営業増益を見込むが、大幅上振れ観測が強く、1Q決算発表へ向け一段高を目指す。

小野測器(6858)



7月4日に574円の高値を付けた後に下落基調継続。500円割れたとしても下値のフシはなく、中期的には11年3月11に付けた362円が意識される。19年12月期予想の下方修正も重石。

サインポスト(3996)



1Q大幅減益を嫌気、マド空け急落の後も5日線に上値抑えられ下値模索続く。計画未達懸念に加え、押し目買いに信用買い残の整理が進まず需給も重荷。上場来安値2116円割れ回避へ正念場を迎える。

※チャートは日足

潮流

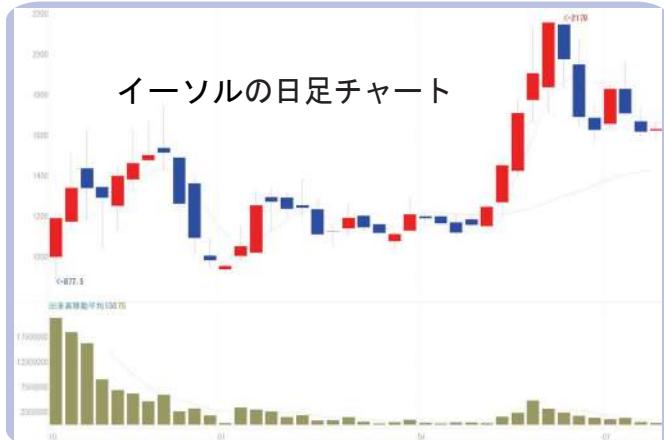
ヘッジFが日本株を枯らす 巨額資金の先物売買で乱高下

marKet bAnk

この急落をもたらしたのはヘッジファンドだ。18日の手口を見るとクレディスイスが株価指數先物に大口売りを出したことが分かる。

225先物を3057枚(約642億円)、TOPIX先物を3103枚(約468億円)それぞれ売り越した。一転して翌日の19日の日経平均は420円上昇し、前日の下げ分をそのまま戻した。19日の手口ではクレディスイスが225先物を434枚買い戻し、TOPIX先物を2646枚買い戻した。さらに、23日の日経平均は204円高の2万1620円で終了。この日の手口を見るとクレディスイスが225先物を2525枚買い戻し、TOPIX先物を1009枚買い戻した。18日に売った分の残りを全て買い戻したのだ。

現在の日本株式市場はクレディスイスなどヘッジファンドが株価指数先物を買うか、売るかで値動きが決まる。何の売り材料もなく急落したり、何の買い材料もなく急騰する。今のようにヘッジファンドが好き勝手に巨額な資金で先物を売り買いしている状態を放置している限り、株式市場に個人投資家の参加者は増えない。現



在の株式市場の売買代金が極端に細っている要因もここにある。

注目されていた参議院選挙で与党が勝利した。ただ、自民党の議席は6議席減少し、来年の衆議院選挙を控え自民党執行部には危機感が広がつ

の資本運用セミナーで、第
一回S1グランプリにて
約1万人の参加者の中か
ら優勝。直近では2017年1月に始まつた夕刊フジ主
催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間におけ
る3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツ
の結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、
月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投
資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>



岡山 憲史氏（株式会社マーケットバンク代表取締役）のプロフィール

ていると思われる。10月に予定している消費税8%から10%の増税で景気減速が鮮明になれば、来年の衆議院選挙は与党にとって非常に厳しい選挙になる。そのような事態を避けるため安倍総理は秋口に万全な景気対策を打ち出すと述べた。今後、消費増税は10年間、行わないとも発言。2014年4月に消費税を5%から8%に増税した時を振り返れば、日経平均は1万4000円から1年後には2万円まで7000円も値上がりした。今回も同様に来年秋まで日経平均の上昇が続き、予想外の株高となるだろう。

米国株は既に過去最高値を更新し、来年にはダウ平均が3万円の大台に乗せてくることが予想される。トランプ大統領が最も関心が高いのが、株価の動きだ。来年の大統領選までは何としても米国株を上昇させるだろう。

潮流銘柄はイーソル（4420）、デジタルアーツ（2326）、フーバーブレイン（3927）。

来年秋まで予想外の株高

高野恭壽の 株式情報

これでどや!!

2万1500円割れも



株式市場新聞の名物コーナーが復活！

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30力条」など著書も執筆。

先週の東京市場は18日の400円超の暴落が無かつたことのように大きく戻す展開となり日経平均は節目となる7月2日

錢を抜け、2
5日には2万
1800円台に乗せてきました。この上昇相場を牽引したのは半導体関連です。25日には前日に伸びきり反落の可能性が強まつたとみられたのですが、それをあざ笑うかのように更に一段高をみせました。

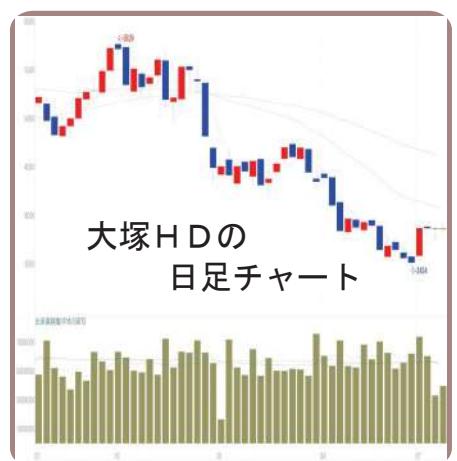
半導体などは買われ過ぎ

すでに5月高値を更新したり、ほぼ回復水準まで戻しており、ここからの上値は限界と思われますので、半導体関連は利益確定することが無難でしょう。

一方、しっかりと銘柄はゼネコンや海運、百貨店などでした。つまり、全体的な動きは2万1700円超えのところで上値追いが難しくなつており、反落する動きが強くなつたといえます。したがつて、動きの悪くなつた銘柄は一旦、処分して待機する姿勢を強めることが大事ではないかと判断すべきでしよう。今週は米FOMCが予定されています。0・25%の利下げは織り込まれていると思われますので、パウエルFRB議長の会見で今後の追加利下げがどうなるかが注視されます。日経平均は手掛かり材料難となれば、一旦は2万1500円割れまでの調整を想定しています。

一貫注力の大塚ホールディングス（4578）の3800円台は堅い動きになりますのでこ^レは我慢のしどころ。あまりく^レどい動きが続くようであれば一旦、処分するのもやむを得ないかもしません。カジノ関連として注目のテックファーム（3625）は高値更新する前の売りものをこなしているところで、一旦、押し目をつくりそれから上値を追う展開になるのではとみています。1300円近くまで反落する場面があれば拾う姿勢を。ラウンドワン（4680）は高値圏で売りものをこなしながら値を保つています。引続き注目です。

せていたので
すが、半導体
以外の銘柄は
業績悪で反落
する銘柄のほ
か上値の重い



高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市情報
れどくせー。
<https://marketpress.jp/>
kabu-takano/
毎日情報を配信中！



くなってしまう。そのような中で、のポイントを使ってモバイル証券が増え擬似的な投資ながら初心者の株入門には最適。このような株式投資のキッカケをつくるサービスがもつと増えてほしい。



New product

自動運転農機を発売へ オペレーター搭乗タイプから



アグリロボトラクタMR1000A

可能な「アグリロボトラクタMR1000A【有人仕様】」を9月に発売する。「MR1000A」の自動運転機能によりトラクタの直進や旋回操作を自動で行うため、作業精度が向上すると共に、オペレーターの疲労が軽減される。また未熟練者でも簡単に操作ができるので、人手不足の解消に貢献できる。

農作業の効率化や高精度化、省人化、軽労化を実現すべく、年内には使用者の監視下において無人運転作業が可能な「無人仕様」も発売する予定。

落していらないのに令和になつて最大の下げ幅を記録したが、これも賑わいが無い東京市場の隙を狙つて先物巧者の外資に仕掛けられたのではないかと推測される。筆者の知り合いで証券ディーラーはいなくなり、知り合いで株を売買する個人投資家の方もかなりの高齢になつてしまつた。人口減が叫ばれて久しいが、それ以前に個人投資家の育成が進まなかつた弊害がでているのだろう。この十年間で各企業のIRはかなり進化したが、個人投資家が増えなければ、そのIRの意味合いも薄

星野三太郎の
株街往来
～個人投資家減少の弊害～

例年、8月は
お盆休みに接近すると市場
参加者が少くなり、閑散
相場になると記憶している
が、今年は既に7月前から
東証一部の一日の売買代金
は2兆円割れが状態化して
おり、外国人投資家がいな
ければ開店休業状態と言つ
ても過言ではない。

一棟まるごとリノベーション

大和ハウス工業
「リブネスモア茨木」を開発



月27日から販売を開始し、7月27日から販売を開始し、

木」は約20年前の1998年2月から、大手保険会社の住宅として利用していた建物を、同社が買い取り、躯体構造はそのままに、専有部分の各住戸からエントランス、エレベーター、外装などの共用部を大規模修繕することで、マンション全体の資産価値を高め、セキュリティ機能や利便性を向上させた分譲マンションに生まれ変わり、リノベーションマンションとして販売するもの。

阪急京都線「茨木市駅」から徒歩6分の場所に位置し、近隣には教育施設や商業施設もそろつており、日常の生活利便性が高い環境にある。

企業レター

